

境 & T 栄 J 協
環 栄 環

大型PETフレイク工場先行

三重県津市で初のボトル用

協栄J&T環境（三重県津市、古澤栄一社長）は、建設していたPETボトルリサイクル原料の製造工場「西日本PETボトルMRセンター」の中で、フレイク製造工場が商業運転を開始した。10月20日には、安全祈願式も行なった。

西日本PETボトルMRセンターは、三重県津市のJFEエンジニアリング津製作所内に建設した。レジンの

生産能力は、年4万5万トンほど。中部・東海地区で初のボトル用原料を製造する。関東で実績を持つJ&T環境と協栄産業のPETボトルリサイクルの運営実績を生かした新しい工場となった。広域の需要をカバーして安定したリサイクル原料の供給体制を目指す。今回の工場建設によ

り、中部・東海エリアだけでなく、近畿・西日本の各自治体、ベンダー、スーパーやコンビニなどのPETボトル回収拠点を持つ事業者や産廃事業者の関心は高い。

三重県内でも廃PETボトルのリサイクルに向けた活動が加速している。三重県がプラスチック資源循環の取



西日本PETボトルMRセンターの外観

を開始する他、津市・松阪市・伊勢市・度会郡玉城町内のセブンイレブン50店舗でPETボトル回収を始める。同社は、県内のPETボトル再生への取り組みに協力していく。

協栄J&T環境は、JFEエンジニアリングのグループ会社のJ&T環境（横浜市）と協栄産業（栃木県小山市）が合併して昨年4月に設立。今年の6月にセブン&ア

イホールディングスが新たに資本参加した。